



あんなにうさぎ、いんなにうさぎ

写真 5

16 東京都からぎょしょく出前授業

学校を中心とした食育推進事業に取り組む福浦小学校で、漁業への理解を深め、地域の産業に対する興味・関心を深めようと、東京都水産課の中野卓課長と永田真係長を講師に迎え、ぎょしょく教育の出前授業が行われました。

「八丈島の漁業について」と題した学習会では、永田係長が、東京都八丈島は愛南町とほぼ同じ緯度上に位置することに触れ、ともに黒潮（日本海流）の恩恵を受けていることなど愛南町の漁業との共通点を説明しました。また、八丈島でのカツオ漁やハマトビウオ漁について、実際使われる漁具等を用いて実演を交えた説明があったほか、八丈島で獲れる魚種や漁法が紹介され、授業に出席した児童、保護者や地域の方々には興味深そうに話を聞いていました。



イサキは夏が旬

写真 4

13 街道灯籠祭り愛南「酒蔵の道をゆく」

小西酒造の酒蔵を中心に蓮乗寺川周辺で、街道灯籠祭り愛南 2013「酒蔵の道をゆく」が行われました。酒蔵内では、「酒蔵カフェ」でじゃこ飯などが販売されたほか、愛南町風景美術館もありました。17時30分には、約400個の竹灯籠と松明に火が灯り、多くの家族連れが幻想的な灯籠の灯りと夏の風情を楽しみました。

街道灯籠祭りは、8月21日（水）に南レク御荘公園横僧都川河口で「海街道をゆく」を、9月14日（土）には山出・僧都地区で「山街道をゆく」が行われます。

FLOWN PINKY

本日！海日和！！ vol.13 「海底に響く謎の音」

「バン!」。鈍い音とともに、体にまで衝撃が伝わってきた。地震？経験したことのない音に、辺りを見渡したが、特別変わった様子もない。

撮影中だったイサキの大群も相変わらず悠然と泳いでいる。同じ方向に泳いだり、反転したり、まるで意志を持った一匹の巨大な生き物のように動いている。イサキは群れを作って行動するが、その中にリーダーはいないようだ。一匹が異変を感じて大きく向きを変えると、その動きが隣の魚に伝わり、さらに隣に伝わり、やがて群れ全体の動きになる。この中で最初に動くのは誰か……。

そんなことを考えながら撮影を再開した瞬間、「バン!」。なんと、音の正体は、ストロボの光に驚いたイサキが、一斉に方向転換をした音だったのだ。イサキの群れが音を出すことには驚いたが、これほど大きな群れに出会ったのは、後にも先にもこのときだけであった。

（撮影地：鹿島）愛南サンゴを守る会 西尾知照



6/ **1** 21いざザンビアへ

国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊員として、7月からアフリカ南部のザンビア共和国に派遣されている深浦出身の山口聖さんが、出発を前に清水町長を表敬訪問しました。ザンビアでは理数科教師として勤務する山口さんは教員志望で、「大学在学時の教育実習で、自分が何も持っていないことを実感した。現地では、自分に何ができるかを常に考え、それを常に実践したい。帰国後は教員になり、海外で経験したことを子どもたちに伝えていきたい」と意欲十分に抱負を語りました。

7/ **2** 1 礼奈さん
ミニコンサート

愛南町ふるさと親善大使として東京を拠点に活躍されているソプラノ歌手の礼奈さん(緑乙出身)が養護老人ホーム南楽荘を訪れ、ミニコンサートを行いました。礼奈さんは「歌を歌って元気になれるよう、みんなで歌いましょう」と呼びかけ、『青山脈』や『リンゴの唄』など懐かしの名曲7曲を入所者の皆さんと楽しそうに歌いました。

また、ミニコンサートの後には、あいなん幼稚園の園児と『森のくまさん』を輪唱するなど、子どもたちとも楽しい時間を過ごしました。

7/ **3** 4 交通ルールを守ります

城辺保育所の園児が、交通安全を祈願した手作りの七夕飾りを愛南警察署と城辺駐在所に贈りました。

愛南警察署前で行われた贈呈式では、城辺保育所を代表して、10名の園児が交通安全への思いを込めて河野正署長に七夕飾りを手渡し、「僕たち私たちは、交通ルールを守って楽しく遊べます」と元気よく宣言しました。